

子 育 て 掲 示 板



保健センターに 発達支援担当を新たに設置

発達に支援が必要なお子さんの成長をサポートし、ご家族が安心して子育てできるよう、また、入園、就園、就学など、どのライフステージに移っても支援が途切れることのないよう、継続して相談ができる体制をつくります。

◆安心して相談できる体制をつくります

発達相談員が個別に相談をお受けします。抱えている悩みをお聞きし、お子さんの特性を理解したうえで、ご家族と一緒によりよい支援内容を考えます。

また、在宅から就園、就学などお子さんの所属機関がかわっても引き続き相談をお受けします。

◆関係機関と連携を図り支援をコーディネートします

保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、医療機関など、お子さんが関わる機関や担当者と連携をはかることで、お子さんの発達を「みんなで支援する環境」を整えます。また、ご希望に応じて、お子さんが所属する保育所、幼稚園、認定こども園などに訪問し発達相談を行います。

◆ご家族への支援を充実します

発達相談員による発達相談のほかに、保健師による育児相談や家庭訪問、同じ悩みをもつご家族同士の交流会など、ご家族への支援も行っています。

こんなご心配や気になることはありませんか？

ことば
ことばをしゃべるのが遅い。
ことばのやりとりが難しい。

行動
集団活動への参加が難しい。
集中しにくい。

人との関わり
視線があいにくい。
子ども同士でうまく遊べない。
トラブルが多い。

その他
音や感触などに過敏。



◆相談するにはどうすればいいの？

保健センター・発達支援担当へお電話ください。面接（要予約）もしくは電話での相談をお受けいたします。

問合 保健センター（発達支援担当 ☎33・8181）



子ども医療費助成の通院対象年齢を拡大

子育て支援の充実を図るため、4月1日から「子ども医療費助成制度」の通院対象年齢を拡大します。小学6年生修了までの通院に関して、4月1日以降の診療において新たに対象となります。

医療証発行の手続き

- ①新小学5年生、新小学6年生の人（H15.4.2～H17.4.1生まれ）については、申請書を提出している場合、3月末に医療証（黄色の用紙に緑色の印字）をお送りしています。申請がない場合医療証は発行できませんので、まだ提出していない人は早急に提出してください。
- ②0歳から新小学4年生までの人（H17.4.2以降生まれ）については、3月末に新しい医療証（黄色の用紙に緑色の印字）と更新申請書をお送りしています。更新申請書をご記入のうえ、お子さんの健康保険証の写し、今お持

ちの医療証（紫色）を添付して返送してください。

なお、生活保護受給世帯・他の公費医療（ひとり親医療、障がい者医療など）を受給中の場合は申請の必要がないので通知は郵送していません。

医療証の使い方

医療機関の窓口健康保険証と泉大津市子ども医療証を提示してください。保険適応の診療について、1医療機関につき1日最大500円の自己負担で診療を受けられます。（月2日目まで自己負担が発生、3日目以降は無料）。また入院時食事療養費や調剤薬局での自己負担金はありません。ただし、健康保険の適応とならない診療は医療費助成の対象外となります。

問合 こども未来課（市役所1階3番窓口）



ニーズにあった保育をご提案！保育コンシェルジュ

保育コンシェルジュは、就学前のお子さんの利用に関する保護者の相談に応じ、認可保育所のほか、一時預かり事業、幼稚園預かり保育などの保育サービスについて情報を提供します。保護者ニーズと保育サービスを適切に結びつけることを目的として、地域子育て支援センター（かみじょう認定こども園内）・くすのき認定こども園・こども未来課に配置します。

ライフスタイルはさまざまです。ご家庭にとって最適な利用先を見つけられるよう、保育コンシェルジュがお手伝いをします。保護者の立場に立ってお話をうかがい、さまざまな保育サービスについてわかりやすくご案内しますので、気軽にご相談ください。

保育コンシェルジュはこんなことをしています

保育サービスの利用に関する相談業務

市役所窓口や電話などで、保育を希望する保護者の相談に応じ、個別のニーズに合った保育サービスの情報提供を行います。

保育サービスの情報収集業務

各ご家庭のニーズに合った情報をご案内できるよう、保育サービス（認定こども園、認可保育所、幼稚園、乳幼児一時預かり、子育てひろば、預かり保育、一時保育）に関するさまざまな情報を集めています。

問合 こども未来課（市役所1階3番窓口）



妊娠・子育て世代の女性の健康づくりを応援します！！

本市では、子どもを安心して生み育てられる環境づくりとして、妊婦健康診査助成額の拡充、子育て世代の女性を対象にしたセット健診を新設するなど、経済的負担の軽減と定期受診による疾病の早期発見と健康づくりを図ります。 問合 健康推進課（保健センター ☎33・8181）



妊婦健康診査の公費負担額を拡大

4月1日受診分から、妊婦健康診査費の公費負担額を1回あたり3,500円から1回目1万3,840円、2回目以降6,000円に拡大します（助成回数は14回）。補助券1回あたり2,500円はこれまでどおりです（助成回数は10回）。

4月1日までに泉大津市で母子健康手帳の交付を受けた人で、出産予定日が4月1日以降の人は、新しい受診券に交換いたします。3月中旬にご案内を送付しましたが、届いていない人は保健センターまでお問い合わせください。

また、府外の医療機関や助産所での受診についても助成対象となります。詳しくは保健センターまでお問い合わせいただくか、市のホームページをご覧ください。なお、転入の人は保健センターまでお問い合わせください。他市町村で交付された現在お持ちの受診券と交換いたします。

対象 受診日当日に本市に住民票を有する妊婦



子宮がん検診の対象年齢の拡大

40歳未満の子宮がん検診の対象年齢は、従来20～39歳の偶数年齢のみでしたが、平成27年度から20歳以上の市民であれば誰でも受けられるようにし、受診しやすい体制にしました。



20～39歳の女性を対象 サンキュー

セット健診「39健診」を新設

20～39歳の女性を対象に、健康診査、子宮がん検診（頸部のみ）、骨密度測定器による骨の健康チェックをセットにした「39（サンキュー）健診」を行い、次世代を担う子育て世代の女性の健康づくりを推進します。



骨粗しょう症検診の対象年齢の拡大

従来40～70歳の5歳節目のみを対象としていましたが、平成27年度から40歳以上を対象とします。

こちらの詳細は、本紙中央縦じ込みの「成人保健予定表」をご覧ください。

連載

つなごう健康と食育



妊娠・出産期－乳幼児期－学童・思春期－青年期－壮年期－高齢期

泉大津市では、平成27年度から、「第2次健康泉大津21計画・泉大津市食育推進計画」を策定し、市民すべてが共に支え合い健康で豊かな生活を送れるようライフステージに沿った健康づくりと食育を推進していきます。

VOL.1「妊娠・出産期について」

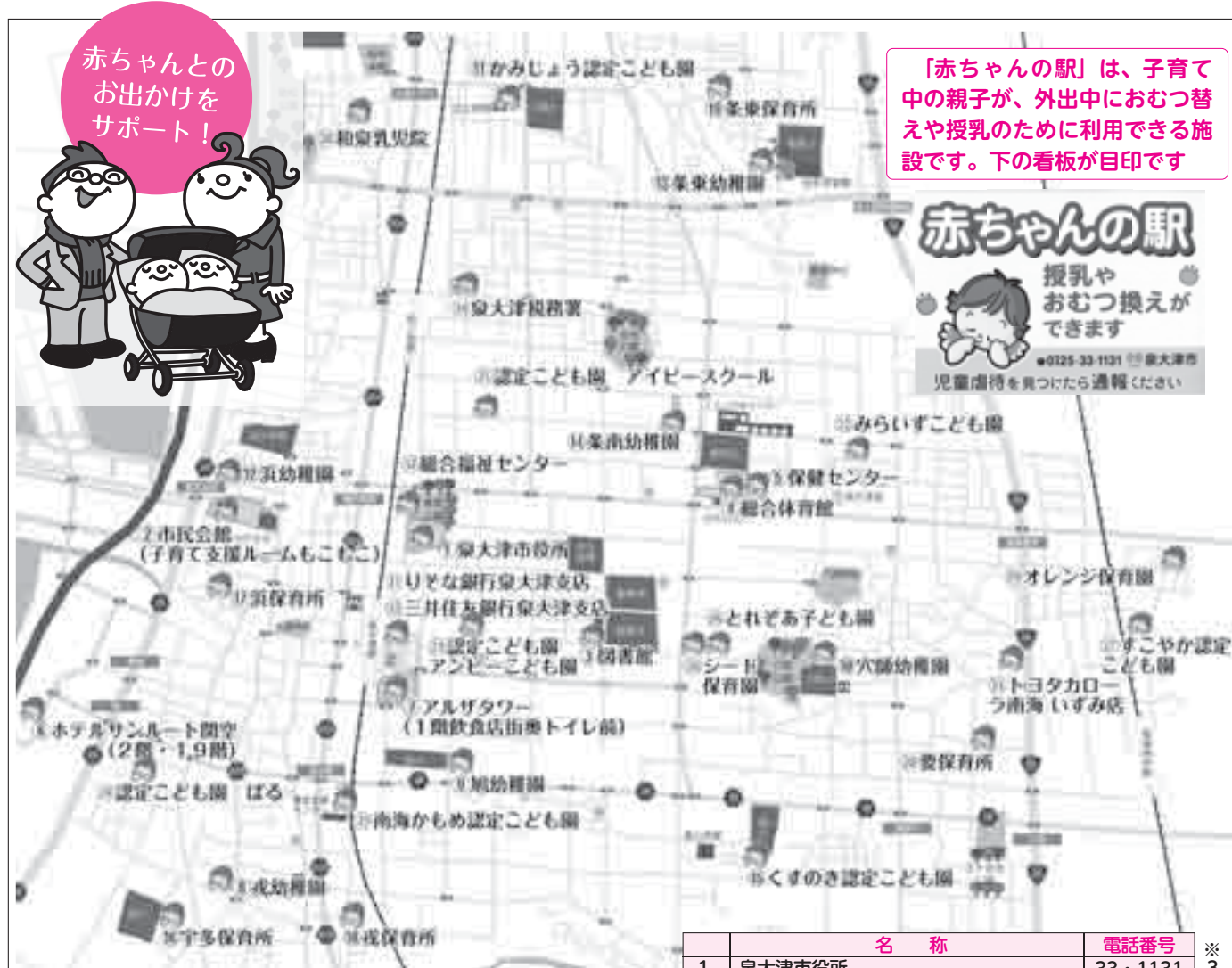
妊娠・出産期の特徴と現状

この時期は、お母さんの生活習慣や健康状態がおなかの赤ちゃんの健康に大きく影響し、お母さん自身も、貧血や妊娠高血圧症候群などさまざまな症状があらわれやすくなります。また、産後は些細なことでも悲しくなったり、不安になったりするマタニティブルーになりやすくなります。平成26年度のアンケート結果では、妊娠・出産・育児に不安を感じている妊婦さんは22%、また、妊婦さんの喫煙率は7%、飲酒率は5%ありました。

チェックしてみよう！ 妊娠・出産期の人が心がけること

- 健康
 - 妊娠届は早めに！ 健診は定期的に受けよう
 - 禁酒・禁煙を家族で取り組もう
 - 相談機関などの情報収集をしよう
 - こころの不安は誰かに相談しよう
- 食
 - 1日3食バランスのとれた食事をしよう
 - 何をどれだけ食べればよいかわろう
 - 常に薄味を心がけよう
 - 生まれてくる子どもへの食に関心を持とう

市では、妊婦さんや産婦さんを対象にした教室や育児相談などさまざまな事業を行っています。詳細は、今月号中綴じの「平成27年度母子保健予定表（保存版）」をご覧ください。 問合 第2次健康泉大津21計画推進委員会・泉大津市食育推進委員会（保健センター ☎33・8181）



「赤ちゃんの駅」は、子育て中の親子が、外出中におむつ替えや授乳のために利用できる施設です。下の看板が目印です



～ここにあるよ子育ての場!!～

「赤ちゃんの駅」を 広めています！

本市では、子育て中の親子を対象として、外出中に、授乳やおむつ替えなどで気軽に立ち寄ることができるように保育所・幼稚園・公共施設などを「赤ちゃんの駅」に指定しています。

気軽に立ち寄っていただける場を、看板で明示することで、赤ちゃんを抱える保護者などが、気軽に保育所などの施設に立ち寄り、安心して授乳やおむつ替えができるよう、子育て家庭の外出支援を行っています。お出かけの際は、お気軽にご利用ください。

「赤ちゃんの駅」の登録施設を募集しています

「赤ちゃんの駅」は、子育て中の親子が、外出中におむつ替えや授乳のために利用できる施設です。子育て中の保護者が安心して外出できる環境づくりにご協力ください。

登録は、ホームページもしくはこども未来課（市役所 1 階 3 番窓口）へ、申請してください。

問合せ こども未来課（市役所 1 階 3 番窓口）

	名 称	電話番号
1	泉大津市役所	33・1131
2	市民会館（子育て支援ルームもこもこ内）	21・4085
3	図書館	32・0562
4	総合体育館	33・1200
5	保健センター	33・8181
6	ホテルサンルート関空（2F・19F）	20・1111
7	アルザ（1F 飲食店街奥トイレ前）	33・2403
8	戎幼稚園	32・0855
9	旭幼稚園	32・2130
10	穴師幼稚園	32・2213
11	かみじょう認定こども園	32・2212
12	浜幼稚園	32・1590
13	条東幼稚園	21・2015
14	条南幼稚園	21・2014
15	くすのき認定こども園	22・0057
16	宇多保育所	32・2612
17	浜保育所	33・5432
18	戎保育所	21・1471
19	条東保育所	21・0221
20	要保育所	22・0564
21	認定こども園 アイビスクール	31・4545
22	みらいずこども園	23・0253
23	認定こども園 アンビーこども園	20・2001
24	認定こども園 ばる	32・0375
25	南海かもめ認定こども園	23・8065
26	とれぞあ子ども園	33・3003
27	すこやか認定こども園	45・0012
28	和泉乳児院	33・2227
29	オレンジ保育園	44・7151
30	シード保育園	22・4089
31	りそな銀行 泉大津支店	33・4021
32	総合福祉センター	23・1390
33	三井住友銀行 泉大津支店	21・5501
34	泉大津税務署	33・5601
35	トヨタカローラ南海 いずみ店	33・3361

※3～6の施設は、ご利用の際、受付（フロント）までお問い合わせください。

地域の子育てを応援！ 認定こども園

認定こども園って、どんなところ？

認定こども園は幼稚園と保育所のそれぞれの良いところを生かしながら、その両方の役割を果たすことができる新たな施設です。認定こども園は通園していない親子に対しても、子育て相談や親子の集いの場の提供などの子育て支援を行います。

問合せ こども未来課（市役所 1 階 3 番窓口）



認定こども園の利点

- ▷保護者の就労に関係なく利用が可能（0～2歳児は長時間部のみの利用なので保育の要件が必要）
- ▷集団活動や異年齢交流による健やかな育ちを支援
- ▷地域の子育て家庭を応援
- ▷待機児童の解消に役立つ



認定こども園の取り組み

- ▷認定こども園教育・保育要領に基づいた0歳児～5歳児の教育・保育の実施
- ▷短時間部と長時間部の合同保育
- ▷小学校との連携・園児と児童の交流・小学校の先生との交流・小学校との情報共有
- ▷地域との交流
- ▷子育て情報の収集および提供に関すること



保育形態

- 認定こども園は短時間部と長時間部の2つの保育形態で運営していきます。
- ▷短時間部…1号認定（3～5歳児対象）
- ▷長時間部…2・3号認定（0～5歳児対象）

公立2園目の「かみじょう認定こども園」も4月から開園

公立の認定こども園 くすのき と かみじょう

本市には、くすのき認定こども園と、4月に開園したばかりのかみじょう認定こども園があります。

認定こども園となる前から、上條幼稚園と上条保育所はいろいろな行事を通し交流を深め、平成26年度には合同運動会を開催しました。



くすのき園舎



合同運動会の様子

保育所型認定こども園と民間保育園が 幼保連携型認定こども園に移行

認定こども園は教育保育に加え育児相談などの子育て支援も行っています。詳細は各園に直接お問い合わせください。



認定こども園アイビスクール
（三田町3-5-32 ☎31・4545）



認定こども園アンビーこども園
（旭町22-28 ☎20・2001）



南海かもめ認定こども園
（戎町3-4 ☎23・8068）



みらいずこども園
※平成26年度までは条南保育所
（北豊中町1-2-15 ☎23・0253）



とれぞあ子ども園
（池浦町3-5-8 ☎33・3003）



すこやか認定こども園
（東豊中町3-1-15 ☎45・0012）



認定こども園ばる
（西港町9-7 ☎32・0375）

ひろげよう!! 認知症サポーターの輪!

「認知症サポーター」とは、「認知症サポーター講座」を受講した人のことを言います。
「認知症サポーター」は、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かく見守る応援者です。何か特別なことをする必要はありません。
友人や家族に学んだ知識を伝える、認知症になった人やその家族の気持ちを理解するよう努める、隣人あるいは商店・交通機関などで、まちで働く人として手助けをするなど、自分のできる範囲で活動してもらいます。あなたも、「認知症サポーター」になって、認知症の人と家族を応援しませんか。
問合 高齢介護課（市役所1階6番窓口）へ

認知症初期集中支援チーム始動

本市では、4月から医療専門職、介護専門職、認知症サポート医からなる「初期集中支援チーム」が始動します。
「少しでも早く相談してほしい、認知症になっても地域みんなでサポートしていきたい」との思いで、認知症の初期の人のもとへ、そしてまだ行政や介護保険などの関わりのない高齢者のもとへ、専門のスタッフチームが、直接ご自宅へ訪問します。今、何に困っているのかご相談にのりながら、医療や介護など、その人に合った対応と一緒に考えます。まずはご相談ください。
連絡先 地域包括支援センター（☎21・0294 月～金曜日の午前9時～5時15分）
※泉大津市医師会の協力のもと、啓発冊子を作成しました。

認知症サポーター啓発の福祉バスが市内を巡回!

2月27日、大阪ガス小さな灯運動南部支部から「認知症サポーターの普及啓発マグネット」の寄贈を受けました。
「地域の銀行員」「介護予防の自主サークル」「だんじり青年団」「ミニバスケットボールチーム」など、啓発マグネットには、これまで認知症サポーター講座を受講した認知症サポーターの皆さんが写真に収まっています。作成は、笑顔写真家である「かとうゆういち氏」に依頼しました。
「オレンジの輪をもっと広げるために」という願いを込めて作成しました。子ども、大人も認知症サポーターの証であるオレンジリングの輪の中に入っているデザインです。市内を巡回する3台のふれあいバスに取り付け、啓発することで地域での見守りの輪を広げていきます。

認知症フォーラム in いずみおおつ「これから私たちができること」を開催

2月21日、市民会館において、認知症フォーラム in いずみおおつ「これから私たちができること」が開催されました。
今回のフォーラムでは、「認知症になっても、その人らしく、住み慣れた地域で暮らせるために」をテーマに、認知症サポーター講座を開いた後、地域での取り組みの報告を行いました。
今回の講座で161人の認知症サポーターが新たに誕生しました。
地域での取り組み報告では、泉大津市介護支援専門員連絡協議会から「認知症の人にやさしいお店マップ」の紹介と、池浦町や上之町が自治会やだんじりまつりを通じて地域（まち）ぐるみで認知症サポーターの養成に取り組んでいることが報告されました。今後は他町でも実施の予定ということで、認知症の人を見守る応援者の輪が広がっています。

誠風中2年の約320人が認知症サポーターに加入!

2月23日、誠風中学校の2年生を対象に認知症サポーター講座を開催しました。参加したのは生徒と学年担当教員の約320人です。
同講座は「認知症を知り地域をつくるキャンペーン」の一環として市・社会福祉協議会・介護事業所・医療機関などの職員が講師となり開催しています。
市ではこれまでも小学校（約110人）やだんじりの青年団（約200人）向けの講座も開催。これまでに約2,250人の認知症サポーターが誕生しています。
誠風中学校では認知症サポーター講座を、総合的な学習のなかで地域の役に立てる生徒を育成する福祉学習の一環として開催。2年生では「高齢者理解に関する学習」をテーマに、体の動きにくさを疑似体験するなどした後、高齢者に多い認知症に対する理解を深めようと講座が実施されました。

4月から生活困窮者自立支援制度が始まる!

市民生活応援窓口を開設します!!

市民生活応援窓口を、市役所1階ロビーに開設します。この窓口は、皆さんの生活や就労を応援するところで、相談は無料です。生活や就労の心配ごとと一緒に解決していきましょう。



4月から開設する「市民生活応援窓口」

4月から、生活困窮者自立支援制度が始まり、生活全般にわたる困りごとの相談窓口が全国ほとんどの自治体に設置されます。
相談窓口では、支援員がお話をうかがい、みずから意欲的に自立に向けた取り組みを行っていきけるよう、一人ひとりの状況に応じた支援プランを作成し、他の専門機関と連携して解決に向けた支援を行います。
本市では、次のような支援を行います。
自立相談支援事業
支援員が相談を受けて、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、自分の力で自立できるような支援を行います。
住居確保給付金の支給
離職などにより住居を失った人、または失うおそれの高い人には、就職に向けた活動をするなどを条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。生活の土台となる住居を整えたうえで、就職に向けた支援を行います。
なお、一定の資産収入などに関する要件を満たしている人が対象となります。

お気軽にご相談ください。相談は無料です!



問合 生活福祉課市民生活応援窓口（市役所1階ロビー） ☎33・9254

一時生活支援事業
住居をもたない人、またはネットカフェなどの不安定な住居形態にある人に、一定期間、宿泊場所などを提供します。退所後の生活に向けて、就労支援などの自立支援も行います。
なお、一定の資産収入などに関する要件を満たしている人が対象となります。
生活困窮世帯の子どもへの学習支援
子どもの学習支援をはじめ、日常的な生活習慣、仲間と出合い活動ができる居場所づくりなど、貧困の連鎖を防止するため必要な支援を行います。
お困りの人は、まずは気軽にご相談ください。相談費用はかかりません。

65歳以上の方が購入した自転車用ヘルメット購入費用を補助

問合 土木課（市役所2階22番窓口）

市では、高齢者のヘルメットの着用と事故防止を目的として、自転車用ヘルメットの購入費の一部を補助します。
補助を受けられる人 市内に住所を有する65歳以上の人
補助金の額 購入費の2分の1に相当する額（ただし、100円未満の端数は切り捨てとし、3000円を限度とする）
申請書類 ▼泉大津市自転車ヘルメット購入費補助金交付申請書兼請求書 ▼ヘルメット購入に係る領収書の原本（購入者を確認するため、申請者の氏名の記載のあるものに限り） ▼住民票の写しおよび納税証明書（住所および市税などの納付状況の調査に同意した場合は不要）
補助金を受けようとする人は、ヘルメットを購入した日（平成27年4月1日以降に購入した物に限る）から1年以内に前述の書類に必要事項を記載し申請してください。
なお、申請書は土木課交通安全対策係および泉大津警察署の窓口で配布します。市ホームページからもダウンロードできます。

購入した費用の最大50%を補助します!



市立病院からのお知らせ

Hospital News

スムーズに検査ができ、身体的負担が少ない「AICS 検査」を割引料金で！

5/24 日曜早朝集団がん検診を実施

前回の集団検査は受付開始から検査終了までわずか 30 分程度。
検査は 5 ミリリットル分の採血を行うだけです。

30 分で
検査できる！

市立病院では、積極的にがんの早期発見・早期治療に取り組んでいます。その一環として昨年 9 月に実施しご好評いただいた AICS 集団検査を今年も行います。

前回の集団検査では、実際に早期のがんを発見することができ、治療につながった例もありました。検査当日は絶食でお越しいただく必要があることなどから、今回も多くの人にご利用いただけるよう検査日を日曜日の早朝に設定しました。さらに今回も当日検査を受ける先着 100 人は割引料金で受診していただけます。あなたの健康を守るために、がんの早期発見に役立つ AICS 検査をぜひご利用ください。

なお、当検査は妊娠している人、がんの治療中、治療後の人は正確な値が出ないなど、検査の対象とならない場合があります。お申し込みいただいた人には事前に検査のご案内をお送りしますが、内容についてご不明な点がございましたらお

問い合わせください。

アミノインデックス（AICS）検査とは

血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人とがんである人のアミノ酸濃度バランスの違いを統計的に解析することで、がん罹患しているリスクを評価する新しい検査です。受ける検査に応じ、それぞれのがん種に対して評価（検査結果）が出ます。

日時 5 月 24 日（日） 午前 7 時 30 分～9 時 45 分（全予約制）

場所 市立病院

定員 100 人

申込・問合 4 月 6 日（月）から市立病院予約センター（☎32・5489 午前 9 時～午後 5 時、土・日曜日、祝日は除く）へ

問合 市立病院医事課（☎32・5622）

単独での検査は祝日を除く毎週水曜日午前 8 時 45 分から実施しています。（事前予約制）



AICS 検査内容	検査名称	検査対象となるがん	対象者	検査費用（税別）
	男性 AICS（4 種）	胃がん、肺がん、大腸がん	25～90 歳	割引価格 1 万 7,000 円 （通常価格 1 万 9,000 円）
		前立腺がん	40～90 歳	
	女性 AICS（2 種）	乳がん	25～90 歳	割引価格 8,000 円 （通常価格 1 万円）
		子宮がん・卵巣がん	20～80 歳	
女性 AICS（5 種）		胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん	25～90 歳	割引価格 1 万 7,000 円 （通常価格 1 万 9,000 円）
		子宮がん・卵巣がん	20～80 歳	

副市長に榎葉氏を選任



副市長の退職に伴い、新たな選任同意を求める議案が、3 月 19 日の市議会に提案されました。

その結果、議会の同意を得て、副市長に榎葉智晴氏（60 歳）が選任されました。榎葉副市長は、昭和 48 年 4 月泉大津市で公職に就いて以来、総合政策部人事課長、総合政策部次長、総合政策部長などを歴任。

なお、3 月 31 日付で、これまで副市長として市政運営に携わってきた山本賢次副市長が退任しました。山本副市長は、平成 25 年 4 月 1 日から 2 年にわたり、市政の発展に努めました。

問合 人事課（市役所 4 階）

広報モニターを募集

～あなたのご意見を直接お聞かせください～

「広報いずみおおつ」を、より分かりやすく親しみやすい広報紙とするため、広報モニターを募集します。広報紙について、一緒に考えていただける人のご応募をお待ちしています。

募集人員 50 人

活動内容 主に、市が依頼する広報紙に関するアンケート調査への回答（詳しくは、秘書広報課備え付けの、広報モニター設置要綱（ホームページでダウンロード可）参照）

応募資格 平成 27 年 4 月 1 日現在、18 歳以上の泉大津市民（国および地方公共団体の職員と議員は除く）

活動期間 依頼の日から平成 29 年 3 月 31 日まで

募集期間 4 月 1 日（水）～ 30 日（水）

選考結果の発表 選考結果は郵送で通知

応募方法 秘書広報課備え付けの申込書（ホームページでダウンロード可）に必要事項を記入うえ、4 月 30 日（水）までに郵送、ファクス、メールのいずれかの方法で提出

謝礼 おづみんグッズなどをプレゼント

問合 秘書広報課（市役所 4 階 ☎595－8686 住所記載不要 ☎21・0412 メール:kouhou@city.izumiotsu.osaka.jp）



本市は国際認証制度であるセーフコミュニティ認証の取得を目指しています。

セーフコミュニティいずみおおつ

みんなでつくる
安全・安心なまち



第 4 回対策委員会を開催

課題のトップ 3 を出し、重点課題について考えました



前回議論した客観的課題を再確認する様子

第 4 回分野別対策委員会を開催
2 月に第 4 回分野別対策委員会が開催されました。
対策委員会は「交通安全・高齢者の安全・自殺予防」、そして「子どもの安全・犯罪防止・災害安全」の組み合わせでの合同開催となりました。
ワークショップ「対策委員会としての課題」を考える
今回のワークショップは過去 2 回と異なり、対策委員会ことにまとまって行われ、はじめに前回検討した統計データなどからの地域の客観的な課題について再確認を行いました。その後、これまでのワークショップで検討した内容を踏まえ、それぞれ

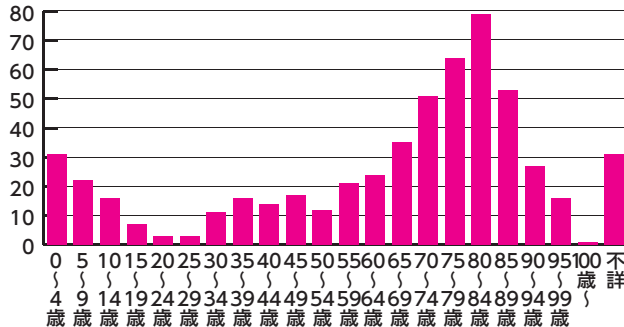
が思う課題のトップ 3 を出し合、対策委員会としての重点課題について考えました。今後、重点課題についての検討を進め、課題に向けた取り組みなどを考えていく予定です。
セーフコミュニティリーフレット・ポスターを作製
現在進めているセーフコミュニティいずみおおつの取り組みを市民の皆さんに広く知ってもらうため、リーフレット・ポスターを作製しました。
庁舎内や公共施設などに掲示しています。みんなで作る、安全・安心なまちをめざす取り組みにご理解とご協力をお願いいたします。

リーフレットとポスター



一般負傷による救急搬送の年齢層別件数（2013 年）

※不搬送事例を含む 出典：救急搬送データ



市の重点的課題として何に取り組むべきかを協議しています

対策委員会での議論も、3 回目が終わりました。6 つの対策委員会は、泉大津市の重点的課題として何に取り組むべきかを協議しています。委員の皆さんは、自分たちの経験に加え、さまざまなデータをみながら泉大津市の課題について検討しています。さまざまな側面を考慮しながら検討しますので、時間がかかりますが、ここでしっかりと時間をかけておくことで、今後、実情にあった対策を検討する際に役立ちます。委員の方たちの活発な議論が期待されます。

JISC 代表理事
白石陽子氏のコメント

